

成人看護学演習Ⅱ

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 武田 邦子 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	3	区分・時間数	演習 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

成人期にある者およびその者の家族等を対象とした急性期から慢性期を通じた看護に関して、特に、急性期に焦点をあてた実際の方法について、演習を通して学ぶ。具体的には、成人看護方法論Ⅱで取り組んだ事例をシミュレーターや模擬患者を活用して再現し、成人看護方法論Ⅱで学んだアセスメントや看護ケアについて、演習を通して実践する。その際、事例への看護ケアは、臨床現場を意識し、臨床判断、問題解決および優先順位をつけるなど、時間管理の能力を身に付ける。

・教育成果（アウトカム）

クリティカルケア及び周手術期の看護を実践するにあたって必要な知識・技術を、シミュレーション・シナリオでの実践を通して体得できるようになる。PBL や TBL 等のグループ実践を通して、クリティカルケア及び周手術期にある者へ質の高い看護を提供するために必要なコミュニケーションスキルに関する知識・技術を体得できるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4, 5, 6, 7

・到達目標（SBO）

1. 成人看護学方法論Ⅱをふまえ、クリティカルケア及び周手術期の看護を実践するにあたって必要な、生物学・解剖学・生理学・病理学・薬理学・社会学及び発達段階に関する知識から得た知見を、患者の潜在的・顕在的な健康問題への看護としてシミュレーションシナリオの中で実演できる。
2. 成人期のクリティカル及び周手術期にある者やその家族の特徴について、アセスメントした内容を踏まえ、その時の臨床判断・問題解決の内容、優先順位・時間管理の決め方について述べる事ができる。
3. 成人期のクリティカル及び周手術期にある者やその家族の特徴について、アセスメントした内容を踏まえ、援助を実践できる。

・授業日程

(矢) マルチ 4-A 講義室、(矢) マルチ 2-A 実習室、(矢) マルチ 2-B 実習室

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/14	木	3	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	周手術期の看護実践① (術前管理) ・術前管理の要点を述べるができる ・呼吸訓練の術前指導が実践できる
4/14	木	4	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	周手術期の看護実践② (術前管理) ・床上リハビリの術前指導が実践できる ・術後ベッドの作成が実践できる
4/27	水	3	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	周手術期の看護実践③ (術後管理) ・術後の管理の要点を述べるができる ・床上安静中の生活の援助を実践できる
4/27	水	4	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	周手術期の看護実践④ (術後管理) ・早期離床の援助が実践できる ・飲水食開始のアセスメントが実践できる
5/11	水	3	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	急性の呼吸・循環機能障害のある患者への看護実践① ・呼吸器管理中のアセスメントと呼吸ケアが実践できる ・胸腔ドレーン及びドレーンの管理が実践できる

5/11	水	4	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	急性の呼吸・循環機能障害のある患者への看護実践② ・12誘導心電図の測定が実践できる ・心電図のモニタリングが実践できる
5/18	水	3	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	急性の栄養摂取・消化機能障害のある患者への看護実践① ・創傷ケアが実践できる ・ストーマ管理の指導が実践できる
5/18	水	4	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	急性の栄養摂取・消化機能障害のある患者への看護実践② ・経管栄養の管理が実践できる
5/25	水	3	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	急性の脳・神経機能障害のある患者への看護実践① ・脳神経機能の評価が実践できる ・筆談や文字盤によるコミュニケーションが実践できる
5/25	水	4	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	急性の脳・神経機能障害のある患者への看護実践② ・脊髄損傷患者等の床上安静中の安楽の援助が実践できる
6/1	水	3	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	急性の生体防御機能障害・感染のある患者への看護実践① ・血管確保が実践できる ・輸液管理が実践できる
6/1	水	4	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	急性の生体防御機能障害・感染のある患者への看護実践② ・輸血管理が実践できる

6/8	水	2	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	急変時の看護実践① ・一次救命処置（AED+BLS）が実践できる
6/8	水	3	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	急変時の看護実践② ・様々な場面での急変対応が実践できる
6/8	水	4	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	急変時の看護実践③ ・急変した患者の家族への援助が実践できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキスト NICE 成人看護学 成人看護技術 改訂第2版	野崎真奈美他編著	南江堂	2017
参	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第2版	任和子他編著	医学書院	2017

・成績評価方法

定期試験 70 点、授業内での試験 20 点、授業内での演習状況 10 点 合計 100 点により評価する。

・特記事項・その他

<p>【事前事後学修の具体的内容及び時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業で指示される課題に従って、各回最低 30 分以上の予習・復習を行うこと。 WebClass で出題される事前課題を行うこと。 ・なお、事前に e-ナーストレーナー等、関連項目を視聴し、演習に対してイメージができるよう予習を行うこと。 <p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WebClass の事前課題から出題される小テストを授業の始めに行う。 ・各グループで役割を交替しながらシミュレーションと振り返りを行う。 <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 成人看護学</p>
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
演習	心電図モニター	2	シミュレーターを活用した技術修得のため
演習	万能型看護実習モデル“八重”（MW25）	8	シミュレーターを活用した技術修得のため
演習	フィジコ	4	シミュレーターを活用した技術修得のため
演習	レサシアン	12	シミュレーターを活用した技術修得のため
演習	AED	12	シミュレーターを活用した技術修得のため